

第5回揖斐川町消防操法大会

～防火・防災を支える消防団員が操法技術を競う～

5月30日(日)、市場グラウンドで、

第5回揖斐川町消防操法大会が開催されました。小型ポンプの部には32チーム、ポンプ車の部には17チーム(計49チーム)が出場し、連日連夜に亘って行われてきた厳しい訓練の成果を存分に披露し、消防操法技術を競い合いました。

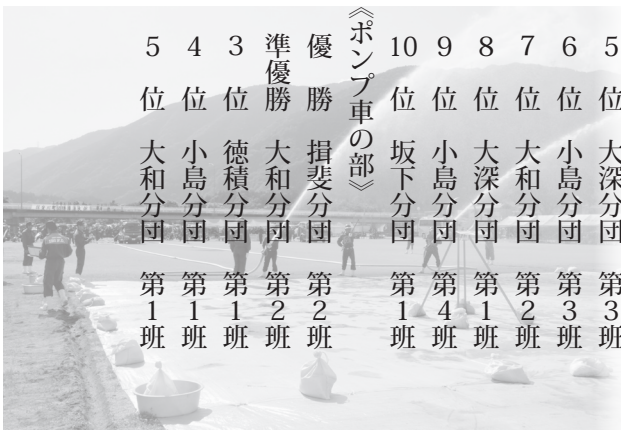
大会の結果は次のとおりです。

《小型ポンプの部》

優勝	揖斐分団 第1班
準優勝	揖斐分団 第4班
3位	小島分団 第2班
4位	脛永分団 第2班
5位	大深分団 第3班
6位	小島分団 第3班
7位	大和分団 第2班
8位	大深分団 第1班
9位	小島分団 第4班
10位	坂下分団 第1班

《ポンプ車の部》

優勝	揖斐分団 第2班
準優勝	大和分団 第2班
3位	徳積分団 第1班
4位	小島分団 第1班
5位	大和分団 第1班



▲ポンプ車の部優勝 揖斐分団 第2班



▲小型ポンプの部優勝 揖斐分団 第1班

春の叙勲(瑞宝双光章)受章

春の叙勲で瑞宝双光章を受章された窪田武利さん(和名)が、5月12日(水)に受章の報告で役場を訪れました。

窪田さんは、38年間の気象庁勤務で豪雪地や離島など通算11回の転勤を経験され、退職後は岐阜テレビで夏の雷情報を担当するなど気象業務での功績が認められ、今回の叙勲の受章となりました。

窪田さんは、「先輩や同僚に恵まれ、大災害もなく平穏に勤められた」と話されました。

受章おめでとうございます。



▲受章報告に訪れた窪田さん(写真右)



いびがわマラソン



IBIGAWA MARATHON



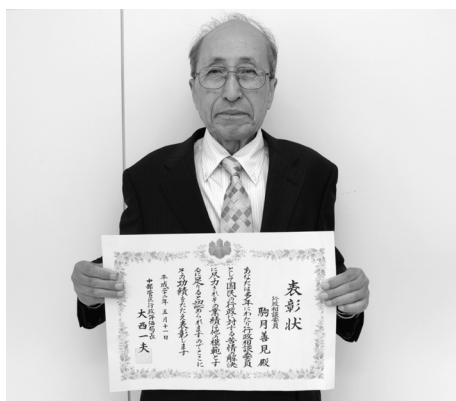
▲受賞おめでとうございます

5月17日(月)に県民ふれあい会館で、岐阜県各界功労者表彰式が行われ、清水政則議員が市町村行政功労者として岐阜県知事表彰を受賞されました。

清水議員は、通算27年あまりに亘り議会議員として活動され、その功績が認められ今回の知事表彰受賞となりました。

受賞おめでとうございます。

市町村行政功労者表彰受賞



▲更なるご活躍を期待しています

5月11日(火)、行政相談委員の駒月善見さん(春日美束)が、中部管区行政評価局長表彰を受賞されました。

駒月さんは、平成11年から行政相談委員として町民の行政に対する苦情解決などにご尽力され、その長年に亘る功績が認められ今回の受賞となりました。

受賞おめでとうございます。

行政相談委員表彰受賞



▲表彰式の様子(写真右から2人目)

5月22日(土)に土岐市肥田町で開催された第40回「岐阜県みどりの祭り」で、北方財産区の森本昭さん(北方)が緑化功労者の岐阜県知事表彰を受賞されました。

森本さんは、昭和30年の設立以来長年に亘り北方地区の山林管理にご尽力され、特に管理地において、さくらの植樹活動や歩道整備、避難所の清掃・修理などに積極的に参加されています。

また、毎年地元の小中学生を対象にした森林学習では講師を務め、林業の普及啓蒙に貢献された功績が認められ今回の受賞となりました。

受賞おめでとうございます。

岐阜県みどりの祭り 緑化功労者知事表彰受賞



▲総会の様子

5月20日(木)揖斐総合庁舎5階で、揖斐川町赤十字奉仕団の総会が開催されました。

昨年度に6分団がまとまり、揖斐川町赤十字奉仕団が設立され、今年度は各分団の全役員62人が参加し、初めての総会が行われました。

総会では役員紹介の後、平成21年度の事業報告と決算、平成22年度の事業計画と予算案など4議案について審議され、全て承認されました。

その後の講演会では、日本赤十字社岐阜県支部参事の服部美鈴さんによる「赤十字のしくみと活動」についての講義がありました。

揖斐川町赤十字奉仕団総会開催

新茶を手摘み 美濃いび茶 茶摘み体験

5月6日(木)、北和中学校1年生、大和小学校3年生、いび幼児園とよまと幼児園の5歳児のおよそ130人がお茶の手摘み体験と工場見学をしました。

この体験は、将来を担う子どもたちに地場産業への理解と愛着を深めてもらうことを目的に「桂茶生産組合」の主催で行われています。

子どもたちは、組合員の方から「一芯三葉」と呼ばれる茶摘み方法を教わり、青々と茂った若葉を丁寧に取り取っていました。

また、工場見学では、厳しい衛生管理がされ、お茶が製造されていることを学んだあと、おいしい一番茶の試飲を楽しみました。



▲新茶を摘む子どもたち

旬が命の大特産市開催 名古屋で「いび」をPR

5月14日(金)名古屋市金山総合駅で、「岐阜県揖斐川町 旬が命の大特産市」が行われました。

この日は、町内の農業団体など11店が出店し、都会ではめずらしい揖斐川町の特産品を買い求める来場者で賑わいました。

また、観光PRコーナーも設けられ、魅力ある観光資源が紹介されました。

会場には一日で1500人が訪れ、大盛況の中、終了しました。



▲多くのお客さんで賑わいました

花と緑のまつり開催

5月29日(土)と30日(日)の2日間に亘って「いび花と緑のまつり2010」が、揖斐川町中央公民館で開催されました。

会場内には、花木の寄せ植えや色鮮やかなサツキ、ひょうたんの置物など約200点の作品が展示されました。

駐車場では、寄せ植え教室のほか、花木に関する相談コーナー、花の苗の無料配布、物産展などが行われ、多くの皆さんで賑わいました。



▲丹精込められた作品が来場者を楽しませました

橋げたに未来を描く ～(仮称)新横山橋で～

5月26日(水)東横山にある横山ダムで建設中の(仮称)新横山橋で、坂内小中学校の児童・生徒と西濃学園(東横山)の生徒39人が工事見学会に訪れ、橋げた内部の点検通路の壁に、特殊なクレヨンで未来の夢の絵や自分へのメッセージ、記念の寄せ書きなどを描きました。

(仮称)新横山橋は、平成23年度に完成の予定です。

子どもたちは、「完成が楽しみ」と話していました。



▲橋げた内の壁に絵を描く子どもたち

自衛官募集相談員委嘱式

5月21日(金)、役場で自衛官募集相談員委嘱式が行われました。

国の安全や平和を守るため、自衛官の果たす役割はたいへん重要ですが、少子化などで自衛官の確保が難しくなっている中で、相談員の活躍が期待されます。

今回委嘱を受けた相談員は次の方々です。

中矢^{なかや}伸夫^{のぶ}さん(坂内^{さかうち}広瀬^{ひろせ})

平井^{ひらい}春男^{はるお}さん(北方^{きたがは})

宮川^{みやがわ}修^{しゅう}一^{いち}さん(胥永^{しゅうえい})



▲相談員の委嘱を受けた皆さん(写真中央3人)

緊急連絡道路開通

〓 揖斐川町と米原市を結ぶ〓

揖斐川町坂内と米原市甲津原^{こうづはら}を結ぶ主要地方道山本東本線の県境付近は、車両による通行が不能でしたが、緊急連絡道路が開通し、6月2日(水)に開通式および道路使用協定の調印式が行われました。

この緊急連絡道路の開通により、平成19年度に揖斐川町・米原市との間で、締結した「災害時における相互応援協定」に基づく相互の救援活動が円滑に行えるようになりました。

なお、緊急用道路につき、通常は一般車の通行は出来ません。



▲開通式の様子



▲調印式の様子

旅コンテスト特別賞受賞

〓 水をテーマに旅行を企画〓

5月30日(日)、財団法人いびがわいのち生命の水と森の活動センターが、国土交通省主催の「水」をテーマにした旅行企画案を競う「水のみぐみとふれあう水の里の旅コンテスト」で特別賞を受賞され、幕張メッセ(千葉県千葉市)で行われた「旅フェア2010」で表彰を受けました。

今回の企画は、「日本一の徳山ダムと上流の豊かな自然にふれあう」

〓 揖斐川源流水源地探索会^{なごせ}の1泊2日プラン〓で、同センターの成瀬^{なるせ}富士一^{ふじいち}センター長は、「今回の旅行案は商品化されていないが、水源地の素晴らしい自然を多くの人に体験してもらえよう、実行に向けて計画を進めたい」と話されました。



▲プランの実現を期待しています

コスモスの種まきを実施

〓 揖斐高原〓

6月2日(水)、揖斐高原日坂ゲレンデ「雪の広場」で、コスモスの種まきが行われました。

参加したのは、地域住民の皆さん、西濃学園の児童・生徒、揖斐回廊の里づくり協議会の皆さん、約40人です。

今回種まきをしたコスモスは、夏から秋にかけて開花します。



▲種まきに参加した皆さん



▲種まきの様子

成功させよう！ 2012 ぎふ清流国体 ぎふ清流大会

カヌー競技の大会で町民審判員が活躍！！

～国体東海予選が開催されました～

5月22日(土)と23日(日)の2日間、揖斐川町上野、朝鳥公園前の揖斐川でカヌー競技の国体東海ブロック大会が開催されました。

この大会は今年開催される千葉国体の東海地区予選も兼ねており、2012年に開催されるぎふ清流国体・ぎふ清流大会の応援事業として、揖斐川チャレンジ2010 カヌースラローム・ワイルドウォーター競技会も併せて開催されました。

また、大会には審判資格を取得した町民の皆さんも、審判員として大会運営に参加しました。審判員は、今後も研修を通して審判技術の向上を図り、ぎふ清流国体の成功を目指します。



▲カヌースラローム競技を見つめる審判員

▼カヌースラローム競技の様子
(東海ブロック大会第1位の岐阜県代表 加藤哲平選手)



カヌーってどんなスポーツ？

カヌー競技の説明

● 揖斐川町で開催するカヌー競技の種類

カヌースラローム

変化に富んだ流れのある川で行う競技です。吊るされたゲートを、流れの上流から、もしくは逆に下流から通過する技術とスタート地点からゴールまでにかかった所要時間の両方を競います。

スキー競技と同様に1艇ずつスタートし、ゲートに接触したか、非通過のゲートが有るか否かによる減点ポイントと所要時間が計算され順位が争われます。



▲カヌーワイルドウォーター競技の様子
(東海ブロック大会第1位の岐阜県代表 渡辺正浩選手)

カヌーワイルドウォーター

流れの激しい川を一気に漕ぎ下がる競技で、1,500メートルとスプリントの2種目があります。

1,500メートルは1回のみのタイムトライアルで所要タイムを競い、スプリントは2回競技し、合計タイムにより順位が決まります。

以上、簡単に説明しましたが、カヌーの魅力は、自然と一体化した中で自由に艇を操ることができる点にあります。また、水面に近い目線から景色を楽しむことが出来るのもカヌーの素晴らしさでもあり、レジャーとしても楽しむことが出来ます。カヌーの魅力を皆さんも味わってみてはいかがでしょうか？



お問い合わせ

総務部国体準備室

電話 22-2111

いびがわ健康福祉フェア 2010 開催

5月23日(日)、揖斐川町中央公民館で、「見つけに行こう!健康と福祉」をテーマにいびがわ健康福祉フェア(主催同実行委員会)が開催されました。フェアでは、健康福祉団体の活動状況が紹介され、参加者は健康福祉、健康づくり、介護予防について学んだり体験したりしました。

展示部門では、揖斐川町社会福祉協議会が募集した児童生徒の福祉標語・習字の作品や福祉施設利用者の作品などの展示がありました。



▲応募作品の展示



▲福祉施設利用者の作品展示



▲入賞者への表彰状授与

オープニングでは、入賞された児童生徒に表彰状が授与されました。その後、シチリンカイによるミニコンサートが披露されました。

体験部門では、要約筆記や手話点字、減塩味噌汁の試飲、ゆる体操、心肺蘇生法などいろいろな体験をするスタンプリーに多数の方が参加しました。



▲焼きそばのバザー

バザー部門では、屋外のテントで、授産所製品・各種バザーの販売や非常食、綿菓子、お餅の無料配布が行われました。



▲減塩味噌汁の試飲



▲非常食(ハイゼックス)の実演配布

大ホールでは、平成24年度に開催されるぎふ清流国体・清流大会のPRキャラクター「ミナモ」と一緒にかわいい園児たちがミナモダンスを披露しました。



▲ちびっこのミナモダンスの披露

また、今話題のエコカーや3人乗り自転車の展示も行いました。